

『新鳥取県史通史編・現代1』の執筆について

令和8年2月
県史編さん室

1 巻構成

全2巻：1巻あたり800～1,000頁
分野：政治・経済・社会・文化
1分野＝約5章、1章＝約5節（章名・節名とも変更の可能性大）
執筆対象時期：1945年～1999年

2 執筆分量の目安

- （1）本文
1節：800字×20頁程度＝16,000字程度
- （2）コラム
800字×2～4頁程度＝1,600～3,200字程度

3 原稿料（予定）

400字あたり2,500円（本文・コラムとも）

4 刊行までのスケジュール（事務局想定）

- （1）資料調査：令和8～9年度
- （2）執筆：令和10～11年度
- （3）原稿締切：令和12年3月末
- （4）提出原稿の編集、調整：令和12年度
- （5）刊行：令和13年9月（鳥取県再置150年）

5 事務局が提供可能な主な資料

- （1）公文書館所蔵文書：明治から現在までの鳥取県発・受文書等の簿冊
- （2）公文書館所蔵刊行物：県内外自治体史、団体史（議会・警察等）、県機関刊行物、人物伝等
- （3）公文書館収集資料：県内市町村の文書（収集中）、企業・個人関係資料（収集予定）
- （4）県立図書館所蔵資料：大因伯・日本海新聞等の新聞、プランゲ文庫（鳥取県関連）等

6 事務局の主な協力内容

- （1）調査旅費（実費）支給、調査謝金9,900円/1回支給、調査依頼文書作成有（県外調査可）
- （2）クラウドによる資料共有（令和8年度開始）
 - ・執筆者に事務局が管理するアカウントを割り当て、いつでも・どこでも資料を閲覧できる体制を構築
 - ・執筆者の要望に対応し、刊行物や文書等資料の画像をアップロード

7 その他

刊行までに毎年度『鳥取県史研究』（電子版）を事務局HP掲載予定（原稿料支給）